

## 2020年度事業及び活動報告

### 1. 認定特定非営利活動に係わる事業報告

新型コロナウイルスの感染は世界中に広がり、新たな変異株が見つかったとの報告もあり、予断を許さない状況です。日本では、第2次緊急事態宣言が出され、外出自粛の呼びかけがありましたが、1回目より緊張感がなく感染者数は減ってきたものの下げ止まりが続いています。一方、ワクチン開発が進み日本でも4月から本格的に接種されることになりました。効果が期待される場所ですが、行き渡るまでどのくらいかかるかわかりません。一日も早い収束を願うところです。

活動方針で新型コロナウイルスの感染状況の収束を期待しつつも先の見えない状況をどのように乗り越えるかが課題でしたが、ショップ運営等理事会で臨機応変に対応してきました。

4月は、感染予防策を充分にとり3時間営業で行ないましたが、緊急事態宣言が出されたためやむなくショップを休み、協力金の申請を行い、また持続化給付金も申請しました。5月もやむなく3時間の営業時間を続けることにしました。ボランティアへの協力は難しいことからスタッフと理事で頑張ることにしました。また総会も署名表決での対応となりました。6月からは10:00から16:00の時短で営業しました。経費節減策を出し合い、進めてきましたが、このままの状況が続けばショップを閉めなければならなくなるという思いから会員に借入金と寄付のお願いをしました。活動がなくなることにならないかと心配して下さった大勢の皆様から、協力して頂いたことは、理事にとって大きな励みとともに不安も解消し営業に集中できるようになりました。その後、家賃給付金の申請もしました。幸いなことに3つの申請は許可され入金されました。それでも提供品がなくなる事態は避けなければと6月からチラシ配布を再開しました。また、11月からチラシ配布ボランティアの参加を募り、今まで以上の数を配布できました。新規の提供者が増えていることは感謝です。

また、大勢が一同に集まることができない状況からボランティアとのLINE、メールでの情報の提供、理事会をZOOMで行う準備など対応策ができたことは、組織強化に繋がりました。

### 2. 事業内容及び活動内容報告

#### 1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

##### (1) 事業報告

- ① 市民の皆様からの寄付提供品（不要になった衣類、日用品など）を販売し、スタッフと多くのボランティアでWEショップを運営しました。
- ② 安定したショップ業務を展開するため、毎月スタッフ会議を開催し、さまざまな課題について話し合いました。セールやフェアなどのイベントを企画し、理事会に提案し、以下のように実行しました。

2020年度 感謝祭・フェア一覧

実施月	企画内容	売上金額
6/22～7/11	夏の半額セール	406,016 円
10/19～22	和のもののフェア	296,555 円
1/6～8	初春まつり	91,575 円
1/9～31	買うほどお得セール	270,696 円
8/17～22、2/15～20	アクセサリ市	91,808 円

不安を抱えながらのフェアやイベント開催でしたが、感染防止策をとりながら多くのお客様に足を運んでいただくことが出来ました。

新型コロナウイルスの影響で4月23日～5月6日まで臨時休業し4月、5月は11:00～14:00までの時短営業、6月から今日まで10:00～16:00にしています。売上に大きく影響が出ました。そのような中、例年2月に開催している和のもののフェアを新型コロナウイルス感染者が少なくなった事や、ドアを開け放すことができる10月に開催しました。

開催後には反省会を実施し、次年度へ向けて様々な意見交換を行いました。

- ③ ボランティアに研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で実施する事ができませんでした。
- ④ ボランティアとの情報共有として、今年度より SNS を利用することとしました。普段ボランティアに参加していない方とも情報を共有することができ、ショップ運営をみんなで行っているという意識をもってもらう良い機会となりました。
- ⑤ チャリティショップであることを、様々なツールを利用して発信できました。Facebook ページを利用し、イベントやキャンペーンについて情報を発信し、WEショップで買い物することの意味を伝える努力をしました。
- ⑥ 商工会議所の商工フェアなどが中止になったためイベントに参加できませんでした。
- ⑦ リメイクチーム活動を支援しました。  
“WE 21 ジャパン海老名 リメイクボランティアに関する申し合わせ”を基にリメイク作品制作及び販売を支援しました。アクセサリフェアの時は同時にリメイク品販売を拡大して行いました。その他、課題が出たときはリメイクチームの会議やスタッフ会議で意見交換を行いました。
- ⑧ ユース・ボランティアと職場体験学習を受け入れる予定でいたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は中止となりました。
- ⑨ 新型コロナウイルスの影響を受けた地元の企業応援として『株式会社栄屋製パン』の食パンを5月18日～6月12日に販売し、収益金を寄付していただきました。

## (2) 活動報告

- ① 企業組合ワーコレ・キャリーを通じエコものセンターを活用しました。  
季節外の寄付提供品をストックし、有効な寄付提供品の管理、活用に努めました。
- ② 環境問題に貢献しているナカノ(株)と連携して、衣類に関しては最後までリサイクルかに努め、ナカノ(株)でリサイクル品として作られた軍手を販売しました  
回収 月2回 560袋 3,920kg/年間  
2020年4月から2021年3月までの12ヶ月間

\*販売品としてショップに出せなかった木綿類は、地域NPO法人の福祉施設へ提供することで、有効活用につながることが出来ました。

\*ナカノ(株)では回収された衣類を糸にして軍手を作成している

内 容	リユース・リサイクル事業 (WEショップえびな運営)
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート海老名103
従事者人数	スタッフ3人、ボランティア総人数33人
受益対象者	一般市民
収 入 額	7,441,949 円
支 出 額	5,104,853 円

## 2) アジアなどにおける市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を通じて支援する事業 (民際支援事業)

### (1) 事業報告

- ① 支援先の人々の課題解決に向けて、共に考え、共に育ち、共に生きる社会の創造を目指し、海外支援の助成をしました。  
・4月に入りコロナ感染拡大による緊急事態宣言が発出されたことを受け、ショップは時短営業や一時期休業にしました。今までない苦境の中でも出来ることを考えて実行する努力をしました。対策として去年の支援先2事業を選択し、期間を設けて店内で募金を呼び掛けるとともに設定した日の売上金を支援金にしました。部会員で支援先の担当を決め、担当者が店内掲示に工夫を凝らしたことや、来店者へ積極的に呼びかけを行ったことで予想以上の結果を出すことができました。
- ② 東日本大震災復興支援の助成をしました  
・海外支援同様に2団体を選択し送金しました。
- ③ 民際支援助成費 230,823 円を助成しました。(募金を含む)

2020年度WE21ジャパン海老名支援先・支援金額（店頭募金・寄付金を含む）一覧

支援国	支援先	プロジェクト名	金額	実施年数
パレスチナ	JVC パレスチナの活動支援	ガザ:こどもの栄養失調予防事業	36,249 円 (内募金 9,563 円)	10年目
アフガニスタン	JVC 教育支援	貧困なくそうキャンペーン	54,723 円 (内募金 10844 円)	14年目
フィリピン	IYAMAN	クリスマス 「レインボーキャンペーン」	12,200 円(募金)	12年目
シリア、イラク 日本	ジムネット	チョコ募金	22,968 円 (募金)	7年目
日本	相模原市 「母ちゃんず」	母ちゃんず～福島の子ども たちを守りたい保養キャンプ	59,711 円 (内募金 25,161 円)	9年目
日本	福島県いわき市 いわき放射能市民 測定室・たらちね	食材・土壌・身体の放射能 測定や福島の子どもを 保養プロジェクト	44,972 円 (内募金 19,950 円)	7年目
		計	<b>230,823 円</b>	

緊急支援

支援国	支援先	プロジェクト名	金額
ラオス	NPO 法人ザ・ピープル	ラオスへ衣類を送るための 輸送費補助	30,000 円

④ WE トレード品の取り組みをしました。

2020年度からジンジャーティ、アシーラ石鹸の加えて気仙沼市・ムラカミの海産物を通年取扱いにしました。アシーラ石鹸は在庫限りで取り扱いが終了します。パレスチナは不安定な状況とオリーブ油の高騰が理由のようです。

WE トレード仕入（2020年4月～2021年3月）

国	WE トレード品	送金先	仕入金額
フィリピン	ジンジャーティ	ウバパス, ダイヨコン ランダバ	18,900 円
パレスチナ	アシーラ石鹸	フレンズオブアシーラ	5,082 円
日本	海産物	(有)ムラカミ (宮城県)	409,850 円
日本	フェアトレード品	百屋・珈琲	18,886 円
		計	<b>452,718 円</b>

- ⑤ 支援部会は情報交換を含めた共育活動を行い、支援体制を整えていきます。
- ・ 支援先、支援金額を理事会に提案しました。  
→今年度は新しい支援先の提案はできませんでしたが、出来る限りの支援金は捻出できました。
  - ・ 緊急支援の提案をしました。  
→複数の団体からの緊急支援要請には個人で対応することで了承しました。
  - ・ 支援掲示コーナーをより充実させ、多くの市民に伝えることが出来るよう努めました。  
→支援部会員が一丸となって支援掲示コーナーの充実に努めました
  - ・ 他の部会と情報交換をしながら支援先情報の収集、研修などを行えませんでした。  
→コロナ禍で共育部会と行っていた WE 講座の開催はできませんでした。
  - ・ 東日本大震災忘れないキャンペーン中は、被災地の物産品の取り扱い、被災地の支援を市民に呼びかけました。  
→復興支援として期間限定で取り扱ってきた(有)ムラカミの海産物は 2020年度から通年取り組みにしました。

## (2) 活動報告

- ① WE 2 1 ジャパン海老名の共育部会と合同で開催してきた講座などは開催できませんでした。また WE 2 1 ジャパン及び WE 2 1 ジャパングループ主催の講座、研修に参加出ませんでした。  
→ZOOM 会議や理事のみ参加の報告会を開催しました。

内 容	民際支援事業
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目 1 4 番 4 6 号チェリーコート海老名 1 0 3
従事者人数	会員 5 人
受益対象者	海外支援先の人々、東日本大震災被災地者及び一般市民
収 入 額	647,942 円
支 出 額	727,297 円

## 3) 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（共育事業）

### (1) 事業報告

WE 2 1 ジャパン海老名の共育事業を推進していくため、また市民の参加と共感得るために、年 2 回の WE 講座を開催予定でした。しかし、今年度も新型コロナウイルスの影響で大勢の人が集まるイベントとなる講座は開催を自粛しました。

### (2) 活動報告

- ① 小学校の体験学習・遊びの場の提供を目的に開催されている海老名市各小学校

における学校応援団主催の「えびなっ子スクール」に参加しました。夏期のスクールは中止となりましたが、依頼を受け「廃油を使用したろうそくづくり」の出前講座で参加しました。

・ 11月21日（土） 東柏ヶ谷小学校（3年生）

参加：児童 23人 ボランティア 6人

\*出来上がったろうそくは見て楽しむだけでなく、災害時の明かりや多少の火力になる事も実験を通して伝えました。また、廃油は海老名市資源課の協力で集めることが出来ました。

アンケートでは楽しかった。また参加したい。との意見が多くありました。

② 海老名市社会福祉協議会主催のユース・ボランティア募集にエントリーしましたがコロナ感染防止のため中止となりました。

内 容	共育事業
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート海老名103
従事者人数	ボランティア1人、会員2人
受益対象者	一般市民
収 入 額	3,000円
支 出 額	540円

#### 4) この法人の事業の広報普及を図る事業（広報事業）

##### (1) 事業報告

WE21ジャパン海老名の支援事業及び運動を紹介し、支援を広げていくために「WE21ジャパン海老名ニュース」の発行や、その他の広報手段を使い広報普及に努めました。毎月地域に配るチラシは見やすいチラシ作りに努めました。海老名市発行の「資源とごみの分け方・出し方」に掲載した広告を見て問い合わせを下さる方もおおくありました。

① WE21ジャパン海老名ニュースを年2回発行しました。

Vol 66 発行9月30日（2面）カラー700部

内 容

第18回総会報告

コロナ禍におけるWE21ジャパン海老名の現状

マスク作りで協力（リメイクチームより）

仲間と力を合わせて（スタッフ）

和のものフェアのお知らせ

## 貧困デイのお知らせ

Vol 67 発行2021年1月31日(2面) カラー700部

### 内 容

新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら

東柏ヶ谷小・ろうそくづくり報告

フードドライブ取り組み

レインボーキャンペーンの報告

支援先・たらちねの支援の日結果報告

貧困なくそう報告

初春まつり報告

- ② 毎月部会を行い、WE 21 ジャパン海老名ニュースやチラシの内容を検討し、理事会に提案しました。
- ③ ホームページや Facebook を活用し広報活動に努めました。
- ④ ショッピングイベントごとにポスターなどを作成し来店者にアピールしました。

WE 21 ジャパン海老名の活動紹介やショッピングの場所や各種イベントを市民に知らせるカラーチラシを作成しました。今年度4・5月はコロナ感染防止の緊急事態があったため中止しましたが、6月からは、ボランティアと共に配布しました。併せて理事からの提案で12月より30人ほどの有志の参加があり、昨年度より多くのチラシを配付することができました。

・海老名市内	18,600 枚
・その他店頭	3,000 枚
・年間チラシ	8,000 枚
・支援チラシ	700 枚
チラシ総合計	30,300 枚

内 容	広報事業
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート海老名103
従事者人数	会員5人
受益対象者	一般市民
支 出 額	116,396 円

## 5) その他、第3条の目的達成に必要な事業（組織活動）

① 理事会を毎月開催し、総会方針に基づき事業計画を執行すると共に新しい課題については必要に応じて討議決定し、執行しました。コロナウイルス感染拡大防止のため会場としていたビナレッジが使用できなくなったため、6月まで代表宅で行うという事態になりました。また今後いつ収束されるか不明という事もありZOOM会議が行えるよう準備し、会議開催が可能な状態にすることができました。

② WE21ジャパンと「WE21ジャパンの目的を達するための合意書」を交わし、定款の目的を達成するために組織活動の充実を図ります。「リユース・リサイクル環境 事業委託費」を支払い、使用する倉庫、配送業務、および全国からの寄付品対応に係る業務の経費を支払いました。WE21ジャパンの理念の実現に向けて連携して活動を進めました。

WE21 物流経費 335,285 円 WE21 商標使用料 120,000 円  
ネットワーク推進費 15,640 円 合計 470,925 円（年間）

③ WE21 ジャパン海老名の会員へ定期的に理事会議事録と海老名ニュース等の機関紙を送付し、情報の共有化を図りました。

④ WE21 ジャパン海老名の活動に支援して下さる会員の目標を、  
個人会員103人 団体会員6 合計109人の予定でしたが、  
個人会員 96人 団体会員5 合計101人でした。

⑤ 認定NPO法人、市、県指定NPO法人であることを活かしたWEの事業活動は、コロナウイルスの影響もありできませんでした。またグループ会議もZOOMによるところが多く、情報の共有化も進みませんでした。

⑥ チャリティショップとして活動している内容がSDGs（持続可能な開発目標）の目標である「貧困をなくそう」「人や国の不平等をなくそう」「陸の豊かさを守ろう」「働きがいも経済成長も」は17項目の中でも遂行できています。市民に対してもSDGsへの理解を深めてもらうため掲示板をつくり機会あるたびに、環境へ配慮していることをアピールしました。エコバッグ持参を呼びかけました。まだまだ持参していない方も多く寄付された紙袋で対応しましたが、今後もプラスチック製品を使用しないことを伝えていかなければなりません。

⑦ 今年度はコロナ感染防止対策として海老名市の中小企業支援金の申請を行いました。中小企業法の中にNPOは除くという項目があるとの理由から受け付けてもらえませんでした。海老名市の指定を受けているにもかかわらず、メリットがないことに憤りを感じました。せめて、ある程度の資格を精査した上で判断してほしいと思いました。今後はNPOの存在が海老名市に果たす役割をもっと認識してもらうために、話し合いをしていかなければなりません。

⑧ 県からの協力金、国による持続化給付金、家賃助成は申請しもらう事ができました。年度当初に貯蔵金の少なさから今後営業を続けられるかという不安もあり、



理事会で検討し、会員へ借入金及び寄付のお願いをしました。その結果、多くの方からの申し込みを得ることができたことは活動への期待を知ることができたと同時に元気を頂きました。

- ⑨ 地域における生活クラブ運動グループ「コミュニティ・オプティマム福祉マネジメントユニット会議」の名称を改め「海老名たすけあいユニット」になりました。代表メンバーを送り情報の共有化を図りました。また2019年度に進めていたパンフレットの改定作業を引き継ぎ行いました。各団体の掲載内容についての確認作業を繰り返し行い7月初旬に発行しました。見やすく、わかりやすいを考慮しカラー化も実現できました。居場所を考える会は、2019年度に発展的解散をして「こもればの家」としてスタートしました。
- ⑩ 海老名市教育委員会の職場体験は受け入れを行う予定でしたが、コロナ感染拡大予防のため中止となりました。
- ⑪ ワーカーズコレクティブ協会を通して横浜市青少年相談センター、社会参加・就労体験の要請があり実習生を受け入れました。初めての経験でしたが、9日間の実習を通して前向きになったという感想がありました。
- ⑫ フードドライブに初めて取り組みました。9月26日から10月31日まで、貧困キャンペーンに合わせ回収箱を設置しました。寄付された食品は、キャリー便を通してフードバンク神奈川に送りました。

内 容	組織活動
個人会費	153,000 円 (102人)
団体会費	20,000 円 (4団体)
寄 付 金	315,696 円
収入合計	488,696 円
支 出 金	228,413 円